

No. 12-7

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 7

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		26年 6月 16日		
事務事業名		観光協会助成事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課	係名	産業振興係	
		5-2 人が集うまちをつくる									シート作成者	
	施策	5-2-1 観光戦略の展開						予算費目	会計	一般		
		④ 広域観光体制の充実								7		
主要施策							1					
							1					
個別計画名												
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	観光協会会員				観光協会の自立支援を行い、観光を通して東員町をひろく情報発信します。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		観光協会の自立支援を行い、行政との協働を実現します。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 18年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等												
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		1,564			425			1,698				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		1,498			227			1,500			
直接事業費（千円）A		1,498			227			1,500				
人件費（千円）B		66			198			198				
内訳	一般職員（人・千円）		0.01 人 66		0.03 人 198		0.03 人 198					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	一般会員			人	150	51	70	70			
	②	個人会員			人	60	35	50	50			
③	賛助会員			人	50	31	50	50				
説明	会員登録数を指標としています。											

事業名	観光協会助成事務	シート作成課	産業課
-----	----------	--------	-----

一次評価者	産業課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
<b>必要性</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。</li> <li>社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。</li> <li>利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。</li> <li>住民ニーズを上回るサービス提供となっている。</li> <li>国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。</li> <li>国や県のサービスと重複している。</li> <li>民間のサービスと競合している。</li> <li>厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	町の観光をPRする上で、民間組織の活用は効果的です。	
<b>有効性</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。</li> <li>施策への貢献度が著しく高いとはいえない。</li> <li>施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。</li> <li>事業の継続をしても成果の向上が期待できない。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	経済の振興に寄与すべく、自主的に創造的な活動の活発化が望まれます。	
<b>達成度</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。</li> <li>事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。</li> <li>概ね目標を達成していると思う。</li> <li>十分に目標を達成していると思う。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	観光協会の事業を通し、広域的に町の情報を発信することができています。	
<b>効率性</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。</li> <li>現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。</li> <li>他の実施主体のノウハウを活用できる。</li> <li>他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。</li> <li>事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。</li> <li>電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。</li> <li>契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	観光協会組織の自主性と公益性を図ることが重要です。	

**本事務事業の実施適切性の説明**

観光事業を民間で行うことにより、自由な発想と展開が期待でき、経費節減と協働社会の実現及び民間活力の増強を図ることができます。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	<sup>(8)</sup> B <sup>(7)</sup> D <sup>(6)</sup>	<sup>8</sup> A <sup>6</sup> C <sup>(5)</sup> <sup>(6)</sup> <sup>(8)</sup>
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
	今後の改革・改善目標	イオンモール東員の開店により、町外からの入込客数も増加傾向にあります。これを契機と捉え、新たな観光資源の発掘及び各種事業に取り組み、リピーターを増やす手立てを講じる必要があります。今後も観光協会との連携を密に図り、民間の独自の発想と自立に向けた取り組みを支援する必要があります。					

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	<sup>(8)</sup> B <sup>(7)</sup> D <sup>(6)</sup>	<sup>8</sup> A <sup>7</sup> C <sup>(5)</sup> <sup>(6)</sup> <sup>(8)</sup>
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
	コメント	広域的な観光情報の発信や魅力ある新たな観光資源を開拓するとともに、観光客誘致を図る必要があります。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する	
------------	------	----	------	---	------------	--